

令和8年度 第1回 蜷塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月20日（水）13時30分から14時45分まで
- 2 開催場所 蜷塚中学校 会議室
- 3 出席議員 川上 玲子、袴田 智恵美、橋本 憲幸、佐々木 知成、
鳥居 大資、山田 谷一、中村 秀樹、野村 賢一、矢野 貴恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 横市 佳音（西部協働センターコミュニティ担当）
- 6 学校支援コーディネーター 橋本 かずよ
- 7 学校 羽生 和斉（校長）、門名 由佳（教頭）、水野 佳史（CS担当）、
粕谷 美奈穂（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 粕谷 美奈穂

10 議長の選出

佐々木委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項 熟議

- （1） 学校運営の基本について
 - ・会長あいさつ 及び 校長による説明 グランドデザイン
- （2） いじめ防止等の基本方針
- （3） 協議会の自己目標について
- （4） 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書

12 会議記録

司会の水野から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1） 学校運営の基本について

議長の指示により、校長から、学校運営の基本について説明があった。

- ・野村委員からグランドデザインは生徒向けのものがあるといいのではとアドバイスがあり、各クラスに生徒向けのグランドデザインを掲示している。中学校3年間で身に付けてもらいたいと考えている。
- ・研修の重点で今年度新たに行っているのは、「チーム蜷塚の資質・能力の向上」。教職員全体的な組織力を高めていこうと取り組んでいる。マンダラチャート（目標達成シート）を使用し、同じ目標を教職員で共有し、学期ごとに到達度の振り返りを行い、本人の資質向上につなげていく。

- ・今年度、教育センターより生成 AI の研究員に任命された職員がいる。後期から授業での活用を視野に入れて研修をすすめていく。
- ・「ようこそ！先輩」は、11月17日（火）に佐々木委員の紹介で梶 望様による講演会を実施予定。
- ・昨年度に引き続き「トークフォークダンス」を令和9年3月9日(火)午後、3年生を対象に行う。面接の受け方講座も私立、公立入試の前に3年生に行っていきたい。（羽生校長）
- ・「ようこそ！先輩」の継続のために、今年度中に次年度の方を考えていきたい。（門名教頭）協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２） いじめ防止等の基本方針

議長の指示により、校長から、いじめ防止等の基本方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・「しじみ学」を年間で5回行う。ピアサポートで人間関係作りや自分たちでトラブルを解決していこうという力を培う。6月12日（金）にいのちのつどいで新貝真夕様の講演会を予定している。（羽生校長）
- ・ひやかしや、からかいは、保護者として意識が希薄になりやすい。線引きをお聞きしたい。保護者に対し、兆候を探るためにチェック項目があると親子間のコミュニケーションがとれてよいのではないかと思う。（鳥居委員）
- ・いじめられた側がどう思っているか。やられて嫌な思いをした時点で、いじめなのか判断するために、聞き取りを行っていく。早期発見のために月1回のアンケートを実施する機会を設けている。いつでも相談できる関係性を構築したいと考えている。（羽生校長）
- ・幼稚園では中学校で問題になっているようないじめはない。瞬間的な「いじ悪」はある。その場面でピンポイントに子供たちに伝えていく。中学生のいじめ対策とは少し違っている。心を耕すという意味では、幼児教育から積み重なっていく大切な部分だと考えている。（橋本委員）
- ・対人コミュニケーションという講座を浜松聖星高校ではじめて行った。申し込みが思いのほか多かった。保護者の世代も自分の子供を含めてどのようにコミュニケーションをとったらよいか行き詰っているのではないかと感じた。いじめの時も両方から聞き取りが必要。Google フォームにアンケートを入力してもらい、必要な時に子供たちが入力できるようにするとよいのではないか。（野村委員）
- ・心に重荷を抱えている子は、表面上は「知らない」「忘れた」「聞いてない」といった言葉で本心を隠し、目を見て話さなくなることがある。こうした状態になるのを防ぐためにも、子供が本来持っている「言いたいことや、やりたいことを表現する力」を抑え込ま

ず、まっすぐに歩んでいけるような支援が求められてる。大人が子供のサインを敏感に察知し、安心して自分を出せる環境を作っていくことが大切だと考える。（袴田委員）

- ・自殺予防の対策でいじめのサインを見逃さないというチェックリストでメンタルヘルスをチェックすることができる。心の問題にアプローチできる仕組みに取り組んでいるので、関連つけて対策していったほしい。（山田委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（３）協議会の自己目標について

議長の指示により、教頭から昨年度の自己評価表に基づき協議会の自己目標について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（４）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業について説明があり、委員からは以下発言があった。

- ・夢育やらまいか事業は大変ありがたい。活用させてもらい、いろいろな方を招待できたらと思う。（川上委員）
- ・１１月に行う講演会で梶さんが、中学生だけでなく他の方にも聞いて頂きたいとっている。可能であれば招待してほしい。（佐々木委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

１４ 報告（学校支援ＣＤより）

- ・読み聞かせボランティアと図書室の掲示物ボランティア、調理実習補助ボランティアを取りまとめる。

読み聞かせボランティア 保護者５名 地域の方５名

図書室の掲示物ボランティア 保護者５名 地域の方５名

調理実習補助ボランティア（年間３回活動）保護者６名 地域の方３名の応募があった。

- ・職業体験は、１０月６日、７日を予定している。

７月頃、学校と打ち合わせして詳細を決めていく。

夏休み期間に学校支援コーディネーターが事業所に受け入れ可能か電話がけをしていく。

９月頃、２年生を対象に先生が生徒に実施先を知らせる予定になっている。

その他報告事項等

- ・学校運営協議会の自己評価について

学校運営協議会自己評価表を令和８年度１２月１５日（火）までに委員は提出する。

- ・司会から、次回会議は、令和８年７月１７日（金）午後１時３０分から蜷塚中学校会議室で開催する旨の報告があった。
- ・次回議長は、鳥居委員が務める。